

アシストのソーラー発電商品

旭山動物園のサポーターに

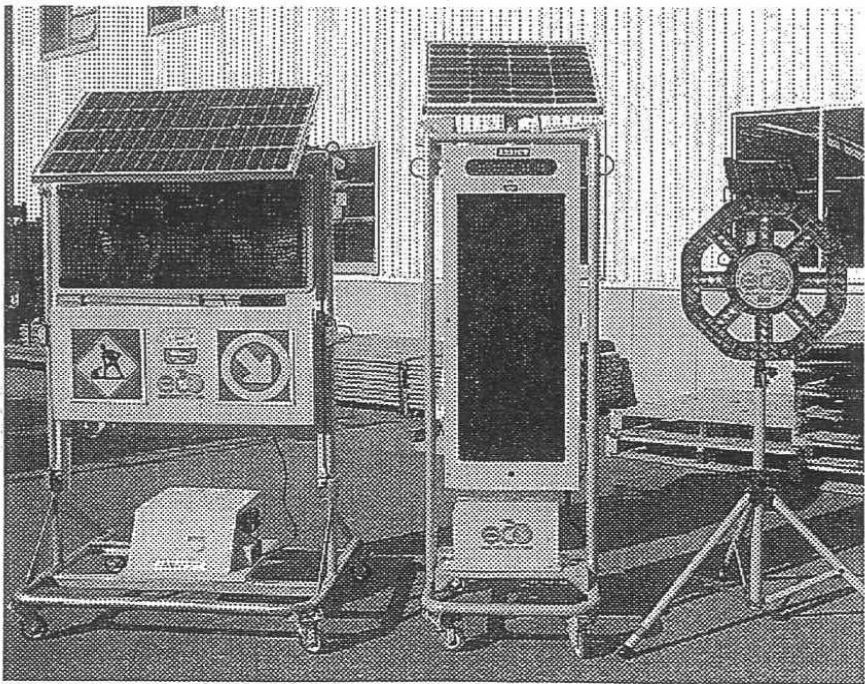
建設保安用品レンタルを手掛けている、アシスト(本社・北広島)のソーラーボードなどソーラー発電商品がこのほど、旭山動物園のサポーター商品として認定された。これらのレンタル売り上げの一部が「あさひやまどうぶつえん」もつと夢「基金」に寄付され、新施設の建設や新しい動物の購入の一助となる。

建設関連のサポーター商品はこれが初めて。道路工事などで使うソーラー式サインボード横型(KS-SUD-Xなど4種)、同縦型(KS-

SSV)、ソーラー式LED回転灯(R600)で、いずれもNETIS

(国土交通省新技術情報提供システム)登録商品。それぞれ、ペンギンが飛ぶように泳ぐ絵と「私たちは旭山動物園を応援しています」とのメッセージを記した認定マークが張られる。

同社は、工事現場から本道を代表する観光資源である旭山動物園の発展に貢献できればと、サポーター制度への参加を決めた。木村富津夫社長は「旭山を応援することは北海道を元気にすること。自分たちにできることを考えたら、ここに行き着いた」と話している。



現場での活躍に備えるサポーター商品